

第3学年 社会科学習指導案

令和7年1月17日（金）第5校時

江東区立豊洲西小学校

授業者 岩下 千夏

1 単元名 「江東区のうつりかわり」（13時間）

2 単元の目標

江東区の様子の変り変わりについて、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、地図などの資料で調べ、年表や図などにまとめることで、区や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考えて表現することを通して、区や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い変わってきたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や区民の一人として江東区の発展を考えようとする態度を養う。

3 単元の観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いについて地図などの資料などで調べ、必要な情報を集め、読み取り、区や人々の生活の様子を理解している。 ②調べたことを年表、文などにまとめ、区や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。	①交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、問いを見いだし、区や人々の生活の様子について考え表現している。 ②駅や鉄道、公共施設ができたこと、人口が変化してきたこと、土地利用の様子や生活の道具が変わったことなどを相互に関連付けたり、区の様子の変化と人々の生活の様子を結び付けたりして、区の人々の様子の変化を考え適切に表現している。	①区の様子の変り変わりについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に、これからの区の発展について考えようとしている。

4 目指す子供像

現在に至るまでの江東区や人々の生活の様子の変化について理解することや江東区の発展や地域の人々の願いや思いを考えることを通して、移り変わってきた江東区への愛着をもち、未来の江東区の発展に希望をもつ子供の育成を目指す。

5 教材について

本単元では、「市（区）の様子の変り変わり」について、昭和時代前半から現在までの江東区を取り上げる。「土地利用の変化」として、「農地が減り、住宅地や埋め立て地が増えたこと」を主に取り上げる。「交通の変化」では、「埋め立て地が増えたことで、私鉄や道路が整備され、駅や住宅が増えたこと」を主に取り上げる。「公共施設の変化」では、「人口の増加に伴い小学校が区内全体に広がったこと」を主に取り上げる。「人口の変化」では、「戦争で大きく減ったが、埋め立て地が増え、住宅が増えたことで人口も増え続けていること」を主に取り上げる。「生活の道具の変化」では、「昭和時代後半には、電化製品などが多くなり、生活の仕方が変化したこと」を主に取り上げる。

以上 5 つのことを関連させながら学習することによって、江東区の様子や人々の生活の変化には

様々な要因（土地利用・交通・公共施設・人口・道具の変化）が関わっていることを捉え、「区や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたこと」を理解できるようにしていく。

江戸初期以降、江東地区の埋め立てが始まり、その後、明治・大正・昭和・平成と、新たな「まち」が形成されてきた。その間、江東区は地盤が低く脆弱なことから幾度も水害に見舞われたり、昭和 20 年の東京大空襲で多くの被害が出たり、ごみ問題など多くの困難もあった。しかし、区民はそれらの困難を全力で克服してきた。そうした中、区は平成 11 年 3 月策定の基本構想において、目指すべき 将来像を「伝統と未来が息づく水彩都市・江東」と定め、今日までこれを区政の基本的指針としてきた。世界的課題である地球温暖化対策には、国や東京都もそれぞれ取り組んでいるが、基礎自治体である区の役割も極めて重要となっている。江東区にはその他にも現在の日本社会、東京が抱える問題が顕在化している。マンション建設に伴う人口急増、南部地域の新たなまちづくりなども、東京一極集中の側面と言える。もちろん、高齢社会の一層の進展や、逼迫性が指摘される首都直下地震への対応、さらに子供をめぐる教育、福祉の課題など、江東区を取り巻く課題は山積している。

そこで、本単元の終末では、歴史的経緯を踏まえつつ、これからの区の発展について自分の考えをもつことができるようにしていく。

6 単元の構想

学習経験	第3学年「江東区の様子」では、地図や写真資料を用いて調べ、江東区の特色について捉えている。7 月には区内巡りに行き、川が多くあることや北側は古くから残る建物が多いことを実際に理解することができた。本単元では、この経験を生かし、昔の豊洲の様子の写真資料や地図、変化を捉える地図を活用しながら「江東区の様子や人々のくらしがどのように変わってきたか」を主体的に調べ、「これからの区の発展について自分の考えをもつ」子供を目指していきたい。
------	---

過程	子供の主体的な問題解決の側面から			社会生活の確かな理解の側面から	
	想定される主な「問い」	子供に働かせたい 見方・考え方		見方・考え方を 働かせる資料	子供が獲得できるように したい知識
つかむ	<学習問題をつかむ問い> 70 年くらい昔の豊洲の まちはどのような様子だ ったのだろうか。	←	歴史と人々の 生活に着 目して	→ ・現在の豊洲のま ちの様子の写真 ・地域の方の話（GT）	70 年前の豊洲は大きな工場 があり、今と違って高い建物 がない。昔は、潮干狩りや魚 釣りをして楽しんでいた。
学習問題	<学習問題をつかむ問い> 今と昔の江東区の様子を 比べ、感じたことや疑問 を出し合い、学習問題を 立てよう。	←	現在に至る 過程に着目 して	→ ・現在の土地の使わ れ方地図（「区 の様子」単元） ・100 年前と現在の 江東区の写真	今の江東区は、100 年 前より、JR や地下鉄が たくさん通っている。 北には古くから残る建 物が多く残るが、南 は、マンション、オリ ンピックに使われた施 設など新しい建物が多 い。
	江東区は、どのようにうつりかわってきたのだろうか。				
	<学習問題をつかむ問い> 予想を出し合い、学習計 画を立てよう。				

し ら べ る	＜しらべる問い＞ 人口はどのように変わってきたのだろうか。	←	人口のうつりわりに着目して	→	・人口の変化のグラフ ・副読本の文章資料 ・年表	戦争が起きたことにより人口が大きく減少し、戦後は増えている。
	＜しらべる問い＞ 土地の使われ方はどのように変わってきたのだろうか。	←	土地の使われ方のうつりかわりに着目して	→	・土地の使われ方の変化 ・年表	100 年前は土地が北にしかった。昭和・平成時代になると、埋立地が増え、今の江東区になった。
	＜しらべる問い＞ 交通の様子はどのように変わってきたのだろうか。	←	交通のうつりかわりに着目して	→	・交通の変化 ・年表	鉄道が増えたりバスが駅と駅を結ぶようになったりしたことで、江東区は多くの住宅地ができたり都心に通勤通学する人が増えた。
	＜しらべる問い＞ 公共施設はどのように変わってきたのだろうか。	←	公共施設のうつりかわりに着目して	→	・公共施設の変化 ・年表	人口の増加に伴い、公共施設が建てられ、やがて区内全体に広がった。
	＜しらべる問い＞ 生活の様子はどのように変わってきたのだろうか。	←	生活のうつりかわりに着目して	→	・道具の変化 ・GT の話 ・生活の変化 ・年表	昔は家に電気が通っておらず次第に自動電化製品が増え、家の仕事以外のことに時間を使えるようになった。
ま と め る	＜特色や意味を考える問い＞ 学習問題について話し合い、考えをまとめよう。	←	これまでの学習を関連付けて考えて	→	・これまでの学習内容 ・年表	江東区では、土地が広がったことで交通が発達し、人口が増加した。また、人口の増加に伴い、住宅・お店・公共施設が増えていった。
つ な ぐ	＜社会に見られる課題をつかむ問い＞ 江東区はどのようなまちを目指しているのだろうか。	←	これまでの学習とこれからの江東区が目指すまちを関連付けて考えて	→	・江東区基本構想 ・YouTube ジュニア会議の様子 ・江東区基本構想について3年生にも分かるように GT と事前に打ち合わせをしておく。 ・人口予測 ・これまでの学習	これからの江東区は、「人とのつながり」や「安全」、「地球環境にやさしい」などに力を入れようとしている。江東区に住む人が仲良くできるように何ができるかな。
	＜社会に見られる課題をつかむ問い＞ 江東区がもっとよくなるためには、どのようなことができるだろうか。	←	これからの江東区の人々の願いを関連付けて考えて	→	・年表 ・短冊 ・GT	GT に聞いてもらって、自分たちが考えたことと同じことを地域や区役所の人も考えていた。やれることを頑張りたい。

7 研究内容との関連（研究主題に迫るための手だて）

（1）主体的に問いを追究する工夫

「区（市）のうつりかわり」の単元は主として「歴史と人々の関係」に区分され、「区（市）の様子

のうつりかわり」と「人々の生活の様子の変化」で構成されている。

「区（市）の様子

のうつりかわり」の学習は、子供が自分事として歴史分野を捉えることが難しい単元でもある。まず、自分の身近な地域の歴史に関心をもてるようにするため、第1時にゲストティーチャーから70年前の地域の話

（2）社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

を聞く。この話から児童が身近な地域の移り変わりから区

の移り変わりに関心をもち、歴史と人々の関係などに着目した見方・考え方を働かせながら問いを追究していけるようにする。そして、その学習から生まれた問いを集約しながら学習問題へと繋げていきたい。第9時の生活の様子について学習する際には、第1時と同じゲストティーチャーから70年前の生活がどのように変化してきたのかを聞くだけでなく、子供から質問することで主体的な学習に結びつけたい。また、豊洲の街に誇りをもってこの街づくりに参画している姿から、子供が自分事として、主体的に江東区の未来について考えられるようにする。

初めて社会科を学習する第3学年の発達段階に合わせたグラフや数値、地図、写真資料を工夫することで、子供が社会的事象の見方・考え方を働かせながら問いを追究できるようにする。さらに、調べる学習の最後に年表を作成する時間を設定する。これにより、子供が学習したことを振り返るだけでなく、年表を継続して書くことで、時代の移り変わりとともに土地・公共施設・交通・生活様式などが大きく変化したことを捉えられるようにする。

（3）子供の学びを確実にする評価の工夫

課題追究をより良いものにするために、子供とゲストティーチャーとの間で意見交換を行うことで、双方向の対話的な学習を進められるような学習活動を設定する。また、2回のゲストティーチャーとの対話を通して、地域や生活様式の移り変わりといった時間軸の見方・考え方を働かせられるようにする。

「つなぐ」段階では、江東区基本構想やこれまで作成した年表を基に「江東区の目指す方向性」「江東区がもっとよくなるためにできること」を考え、区役所の方と豊洲町会長さんに考えたことを発表する場面を設定する。これにより、自分事として何ができるか精査し、その実現可能性やその有効性について考える時間を設けたい。

これらのように、地域の人々と関わるができる体験的な学習活動を基に、子供の見方・考え方を働かせて問いを追究していくことができる学習展開を工夫する。

教師が記録に残す評価として、「つかむ」段階では、ゲストティーチャーとの対話や今までの生活及び学習経験を振り返り、学習問題の解決のための見通しをもったり、学習問題に対して主体的に取り組もうとしたりする態度について評価する。「しらべる」段階では、写真や資料からの読み取りやノートの記述内容から、社会的事象に関する知識や必要な情報を「集める」「読み取る」技能を評価する。また、年表の作成を基に情報を複合的に読み取る「技能」を評価する。「まとめる」段階では、作成した年表を基にして学習問題に対する自分の考えを文章にしたノートの記述内容から、時代の移り変わりとともに土地・公共施設・交通・生活様式などが大きく変化したことが理解できたかを評価する。「つなぐ」段階では、作成した年表や短冊などの記述から、「江東区の目指す方向性」「江東区がもっとよくなるためにできること」について考えて自分の住む街に関心をもとうとする態度について評価する。

8 単元の指導計画（全 13 時間）

過程	ねらい	○主な学習活動 ●評価につながる学習活動 ◆問い ・予想される子供の反応	◎資料□教師の手だて【評価】
つかむ	豊洲のまちの 70 年くらい昔の様子のお話を聞き、今の様子との違いについて考えたことや疑問に思ったことを出し合う。 ①	○今の豊洲のまちの様子を見て、知っていることを出し合う。 ◆70 年くらい昔の豊洲のまちはどのような様子だったのだろうか。 ○70 年くらい前の豊洲のまちの様子を基に、どのあたりのまちの様子か一人一人予想し、友達と交流する。 ・煙突のような物があるけど、どこだろう。 ・豊洲のまちではないと思う。 ●GT から、70 年くらい昔の豊洲のまちの様子のお話を聞き、気付いたことや疑問、さらに知りたいことを出し合う。 ・小学校の子供はどのくらいの人数だったのだろう。 ・今とは全然違って、昔は高い建物がないけれど、今はどうしてあるのだろう。	◎現在の豊洲のまちの様子の写真 ◎地域の方 GT の話 【知①】昔のまちの様子や人々の様子について調べ、今と違いがあることを理解している。（発言内容やノートへの記述）
	江東区の現在の様子と約 100 年前の様子を比べ、感じたことや疑問を出し合い、学習問題を立てる。②	◆今と昔の江東区の様子を比べ、感じたことや疑問を出し合い、学習問題をつくろう。 ○江東区以外の地域の様子や人々のくらしはどうか各時代の様子を比べ、変化したものを調べる。 ・北は古い建物が多く、南はマンション、住宅が多い。 ●昔と現在の様子比べて感じたことや疑問を出し合い、学習問題を立てる。 学習問題：江東区は、どのようにうつりかわってきたのだろうか。	◎現在の土地の使われ方地図（「区の様子」単元） ◎100 年前と現在の江東区の写真 □「交通」「土地の使われ方」「公共施設」を視点に振り返るようにする。 【思①】江東区の時間の経過による変化に着目して問いを見いだしている。（発言内容やノートへの記述）
	学習問題について予想を出し合い、学習計画を立てる。③	◆予想を出し合い、学習計画を立てよう。 ●前時の学習を基に予想を出し合い、学習計画を立てる。 <学習計画> ・人口はどう変わったか。 ・土地の様子はどうか変わったか。 ・交通はどう変わったか。 ・公共施設はどう変わったか。 ・生活の様子はどうか変わったか。	□発言内容等を分類し、学習計画に整理するようにする。 □既習を生かすことや関連付けに着目して設定するようにする。 【態①】学習問題について予想したり学習計画をたてたりして解決の見通しをもっている。（発言内容やノートへの記述）

し ら べ る	人口の移り変わりについて調べることを通して、社会的な被害によって人口に変化が起きることを理解することができる。④	◆人口はどのように変わってきたのだろうか。 ●人口の変化について調べる。 ・昭和時代の第二次世界大戦で、被害が大きく、人口も大きく減った。戦争が終わって人口が増えた。 戦争が起きたことにより、人口が大きく減少し、戦後は増えている。 ●年表を書く。	◎人口の変化のグラフ ◎年表 ◎副読本の文章資料・写真 (江東区の成り立ち・戦争で焼けた町) □人口の変化には、戦争の被害が関わっていることに着目できるようにする。 □年表の書き方を丁寧に確認する。 【知技①】資料で調べ、人口の変化を理解している。 (ノート、年表への記述)
	土地の移り変わりについて調べることを通して、江東区は海を埋め立てて土地が広がってきたことを理解することができる。⑤⑥	◆土地の使われ方はどのように変わってきたのだろうか。 ●土地の使われ方の変化について調べる。 ・100年前は、土地が北側にしかなかった。 ・平成時代には、さらに埋め立て地が広がり、大きな工場がなくなり、マンションやショッピングセンターができた。 100年前は土地が北にしかなかった。昭和・平成時代になると、埋立地が増え、今の江東区になった。 ●年表に土地の使われ方の変化を書き加える。	◎土地の使われ方の変化 □3つの年代の土地の使われ方の変化に着目できるようにする。 □土地の使われ方と人口の変化の関係に着目させる。 【知技①】資料で調べ、土地の使われ方の変化を理解している。(ノート、年表への記述)
	交通の様子の変化について調べることを通して、交通の発達によって多くの住宅ができ、都心に通勤通学する人が増えたことを理解することができる。⑦	◆交通の様子はどのように変わってきたのだろうか。 ●交通の様子の変化について調べる。 ・100年前は、船を使って運河を移動していたり馬車を使ったりしていた。 船の移動が少なくなり、鉄道が増えたり、バスが駅を結ぶようになったりしたことで、江東区には多くの住宅地ができ、都心に通勤・通学する人が増えた。 ●年表に交通の様子の変化を書き加える。	◎交通の変化 □前時の学習内容と関連付けながら、土地の使われ方と交通の変化との関わりに着目できるようにする。 【知技①】資料で調べ、交通の様子の変化を理解している。(ノート、年表への記述)
	公共施設の変化について調べることを通して、人口の増加に伴い、小学校が建てられ、やがて公共施設として区内全体に広がっていったことを理解することができる。⑧	◆公共施設はどのように変わってきたのだろうか。 ●公共施設の分布の変化について調べる。 ・100年前は公共施設が少なかった。 ・区民施設が税金で整備されている。 人口の増加に伴い、公共施設が建てられ、やがて公共施設として区内全体に広がっていった。 ●年表に公共施設の変化を書き加える。	◎公共施設の変化 □前時までの学習内容と関連付けながら、公共施設の広がりとの関わりに着目できるようにする。 【知技①】資料で調べ、公共施設の分布の変化を理解している。(ノート、年表への記述)
	道具や生活の変化について調べることを通して、家の仕事以外に時間が	◆生活の様子はどのように変わってきたのだろうか。 ●道具や生活の変化を調べる。 ・昭和時代後半には、自動で行う電化製品が増えた。	◎道具、生活の変化 (GTの話) □⑤⑥⑦時の学習内容と関連付けながら、生活の変化との関わりに着目させる。

	使えるようになったことを理解することができる。⑨	・便利になり、家の仕事以外に使える時間が増えた。 昔は家に電気が通っていなかった。次第に自動電化製品が増え、家の仕事以外のことに時間を使えるようになった。 ●年表に道具や生活の変化を書き加える。	【知技①】資料で調べ、道具や生活の様子の変化を理解している。（ノート、年表への記述）
まとめ	調べたことを年表に整理し、学習問題について話し合うことを通して、江東区では土地が広がったことに伴い、交通が発達し、人口も増加し、生活が大きく変化したことを理解することができる。 ⑩	◆江東区は、どのようにうつりかわってきたのだろうか。 ○これまで学習してきたことをもとに、学習問題について話し合う。 ・埋め立て地が増え、交通が整うと住宅やお店が増えたので、土地の使われ方や人口、生活が変わることと関係がある。 ●学習問題について自分の考えをまとめる。 江東区では、土地が広がったことで交通が発達し、人口が増加した。また、人口の増加に伴い、住宅・お店・公共施設が増えていった。	◎これまでの学習内容 ◎作成した年表 【思②】「土地の使われ方」「交通」「人口」「公共施設」「生活の様子」の関連を考え、文章で表現している。（ノートへの記述）
つなが	江東区が目指している町づくりを調べることを通して、区役所は江東区の移り変わりに関連付けながらよりよい地域にしていることを理解する。⑪	◆江東区はどのようなまちを目指しているのだろうか。 ○江東区基本構想の内容を調べる。 ○これまでの学習と江東区基本構想とのつながりを話し合う。 ・さらに教育を大切にしようとしている。 ・海や川を活かし、緑も大切にしようとしている。 ・人口が増えてきて、外国の方もたくさん増えてきている。 ●江東区がより良くなるための今後の取り組みについてグループごとに話し合い、自分の考えをもつ。	◎江東区基本構想 ◎YouTube ジュニア会議の様子 ◎これまでの学習（年表） □「基本構想」と歴史的経緯とを関連付けることで、その取り組みをする意味を考えられるようにする。 □基本構想を基に、少子高齢化・国際交流の視点にも着目できるようにする。 【態①】これまでの学習を振り返り、さらに区の移り変わりについて考えようとしている。（発言内容や短冊への記述）
	学習してきたことを基に、ゲストティーチャーの思いに触れ、区民の一人としてこれからの区の発展について自分の考えをもつことができる。 ⑫⑬	◆江東区がもっとよくなるためには、どのようなことができるだろうか。 ●グループごとに江東区がもっとよくなるためにどのようなことができるか考えたことを発表する。 ○区役所の方と豊洲町長会長さんに考えたことを価値付けてもらう。 ●区役所の方から区が抱えている課題についてどのような対策をしているのかを聞き、よりよい区にしていけることを考え、文章にまとめる。	◎考えを短冊にまとめておく。 ◎ゲストティーチャー（地域の方・区役所の方） 【態②】学んだことを基にこれからの江東区について自分たちができることを考えようとしている。（短冊、ノートへの記述や発言内容）

9 本時における指導（1／13時）

（1）本時の目標

豊洲のまちの 70 年くらい昔の様子のお話を聞き、今の様子との違いについて考えたことや疑問に思ったことを出し合う。

（2）本時の展開

	○主な学習活動 ●評価につながる学習活動 ・予想される子供の反応	◎資料 【評価】 □教師の手だて
導入	○「江東区の様子」の学習で使った地図を見ながら、知っていることを出し合う。 ○70 年前の写真から今の豊洲であることを知る。 70 年くらい昔の豊洲のまちはどのような様子だったのだろうか。	◎「江東区の様子」の学習で使った地図 □前期に行った「江東区の様子」の学習を振り返る。 ◎70 年位前の豊洲のまちの様子の写真
展開	○70 年前の写真を基に、まちの様子や人々の生活について一人一人予想をし、友達と交流する。 ・海だったと聞いたことがあるよ。 ・今のように大きな建物はなかったかな。 ○GT から、70 年くらい昔の豊洲のまちの様子のお話を聞き、調べたことをノートに書く。 ・煙突があるところが、今のららぽーとがあるところだった。 ・ららぽーとの近くに線路があったんだ。 ・防空壕から滑り降りて遊んでいた。 ・東雲で潮干狩りをしていた。 ・小学校の子供は、1 クラス 55 人もいたんだ。 ●GT に詳しく教えていただきたいことや、疑問について質問をする。 ・何小学校に通っていたのですか。 ・一番変わったなと思うところはどんなところですか。	□友達の考えた予想を聞き合い、自分の考えにも反映できるように促す。 ◎地域の人のお話（GT の話） □GT の方の話の内容を、70 年前の豊洲のまちの様子や小学生がどのような生活をしていただろうか分かるような話にしていただくように事前に打ち合わせをしておく。 □GT の話を時間軸に沿って板書する。 □感想も発言して良いことを伝える。
まとめ	●GT の話から分かったこと・疑問・もっと知りたかったことをノートに書く。	【知①】昔のまちの様子や人々の様子について調べ、今と違いがあることを理解している。（発言内容やノートへの記述） □本時の学習を振り返りながら、江東区内の他の地域のうつりかわりについても関心を高め、次時に繋げる。

（3）板書計画

めあて	調べたこと
70 年くらい昔のとよすのまちはどのような様子だったのだろうか。	・今のららぽーとには、大きな工場があった。
100 年前 70 年前 50 年前 今	・公園はなく、空き地は野原が多かった。
70 年前の石川島播磨重工業工場の様子	・工場の中に貨物の線路があった。
70 年前の東京電力の様子	・豊洲小学校があった。
防空壕がある様子	・1 クラスは 55 人。
予想	・防空壕で砂すべりをして遊んだ。
・海だったと聞いたことがあるから、海で遊んでいた。	ふりかえり
・今のような大きな建物はなかった。	
・今よりたくさん電車がかった。	